

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

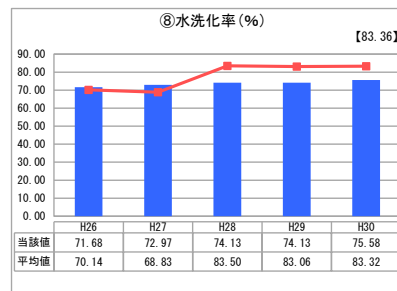
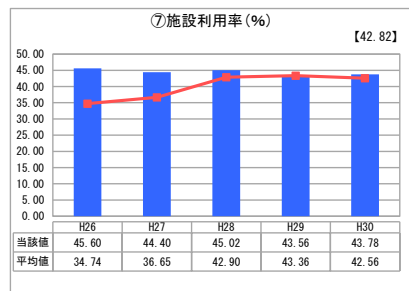
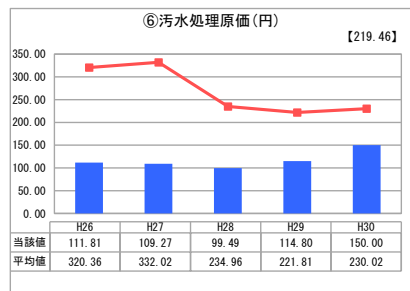
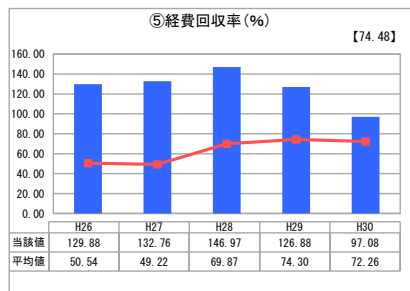
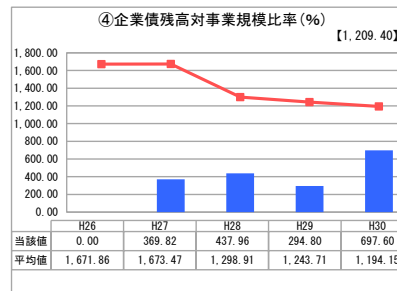
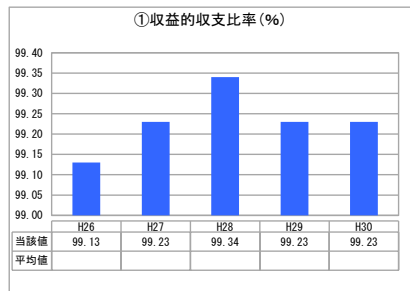
高知県 芸西村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	90.91	100.25	2,160

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,785	39.60	95.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,419	1.17	2,922.22

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

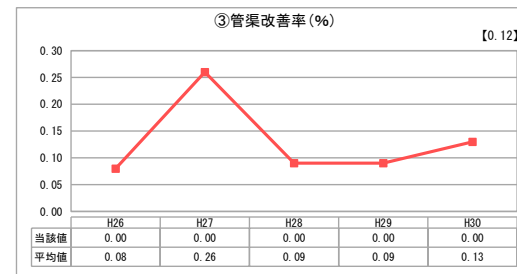
### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率はほぼ100%に近くなっているが、収益の多くを一般会計からの繰入金に頼っている状況である。今後は料金収入の増加を図り、経費を抑える必要がある。  
 経費回収率及び汚水処理原価は平均値より良好である。維持管理業務を民間に委託し、長期契約にするなど経費節減に努めた結果である。今後は施設の老朽化に伴う修繕費の増加など、収支の悪化も見込まれるため注意する必要がある。  
 施設利用率は平均値を上回っているが、依然として低率である。水洗化率のさらなる上昇を図り、使用水量の増加に努めたい。

### 2. 老朽化の状況について

共用開始から17年が経過している。処理場等の電気・機械設備は、平成21年に策定した長寿命化計画による対策工事が平成29年度に完了した。計画的に回収を実施しており、工事費の低減に努めている。管渠は小口径の塩ビ管がほとんどを占めていることから、現在は目立った老朽化は見られない。しかし、今後策定するストックマネジメント計画には機械・電気設備に加え管渠の老朽化対策も講じる予定である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

共用開始から17年が経過し、水洗化率は順調に上昇している。経費回収率及び汚水処理原価も良好に推移しており、経費の節減は図られている。しかし、今後は施設の老朽化や人件費の高騰に伴い、維持管理費の増高が想定されることから、慎重な経営を行わなければならない。  
 処理場施設及び管渠の建設工事は概ね完了しており、今後は必要最小限の改修・更新工事に留め、また、下水道への加入促進を行い収支の改善に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。